協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.155　3月

発行／公益社団法人国際観光施設協会
総務委員会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
2－8－5 多幸ビル九段2階
TEL03-3263-4844
FAX03-3263-4845
E-mail：kankou01@syd.odn.ne.jp
ＵＲＬ： http://www.kankou-fa.jp

2026年3月5日

Noto room　～能登に想いを馳せて～

副会長　野出木　貴夫

丁度1年前の協会だより150号で寄稿したのが「能登ヒバフォーラムに参加して」と題した拙稿であった。当時協会が能登ヒバサポーターとしてこのフォーラムに参加し、復興支援に協力しようと宣言したものの、その時点では具体的な策は未だ十分ではなかった。その後協会の正会員より木製建具の専門メーカーの阿部興業㈱を筆頭に、木製ブラインドのナニックジャパン㈱、木材販売・加工・木製品販売を手掛ける㈱長谷萬がサポーターに参加登録をいただき、ようやくプロジェクトのマッチングが見え始めたのが昨年の夏である。そして今年のホテレス展で能登半島被災地復興支援委員会の報告ブースの一隅にホテルの1室を再現する「Noto room」を展示できたことは驚きであり、誇れる活動の成果ではないかと自負する次第である。

会場での展示設営状況をタイムラプス（コマドリ）撮影した動画を編集し、「Noto room～能登に想いを馳せて～」と題してYouTubeに投稿した。会員の皆様には是非ご覧頂きたい（協会HPに掲載済み）。能登が地震と洪水にて被災してほぼ2年が過ぎようとし記憶が徐々に薄らいでいく中、皆様には改めて「能登に想いを馳せて」いただきたい。

活動の成果として、能登森林組合、石川県木材産業振興協会に加えてATE-NETに参加の能登地域の7事業者の方々と当協会の正会員8社の協力のもと、この「Noto room」が完成したのであるが、これが成果の終わりではなく始まりと考えたい。これらのマッチングの成果をきっかけにしてさらに新たに発展していくことを期待したい。

一方でこの協会だよりが届くころには「3.11 東日本大震災」の報道が多くなるかと思う。すでに15年が経過したのか思うと感慨深くなる。当時協会としても同年8月に現地視察を行い、11月には観光関連の各団体の協力も得て遠野にて「東日本震災創造的復興シンポジウム」を開催したのをよく記憶している。しかしその後の復興支援が協会活動として果たして継続していたのか、また効果的な支援はあったのかなど反省の念をもって自問している。

当協会としてもこのような被災地復興支援の活動を立ち上げたのは当時初めての経験であり暗中模索であったのも事実である。その意味で今回の能登半島被災地復興支援は確かにこの15年前の支援活動の反省も意識しながら取り組んだ記憶がある。前回とは異なる取り組み方が今回は少し効果的な成果を生んだようにも思う。

一方で15年前の反省を反省にとどめるだけでなく当時の支援活動をリカバーすることも許されるのではないだろうか。「能登に想いを馳せる」とともに「東日本にも想いを馳せて」みてはいかがだろうか？

第54回2026年国際ホテル・レストラン・ショーの報告

ホテレス実行委員会 委員長 末森憲義

第54回となった今年のホテレス展は、東京ビックサイトの改修工事のため、いつもの東展示棟から移って西展示棟での開催となりました。不慣れな会場だったため、四苦八苦のスタートでしたが、結果的には55,146名の来場者となり、昨年から1割増の大盛況な会となりました。

協会ブースでは、各分科会の1年間の研究成果をモニターで発表。昨年より継続している「能登被災地復興支援」に加え、これからの可能性を示す「観光DX」の展示にも力を入れました。たくさんの方が大画面の前で足を止め、会員企業のコラボレーションが生み出すシナジー効果に関心を示す姿が印象的でした。特別企画の「Noto room」は分科会の垣根を越えたメンバーの力を結集、一つの作品として力強い魅力を発信。会期中は村田観光庁長官も協会ブースの視察に来られ、内田インテリア分科会長自ら丁寧に説明頂きました。キーフィーチャーとして協力頂いたベネチ庵も大好評で、会期中に何度も来場者の方から問合せを受けました。

ホスピタリティデザインセミナーは高輝度の大画面モニターへアップグレードし、座席も横長のレイアウトで奥行きを浅くしました。これは大正解で、見やすく、聞きやすくなったと好評を頂きました。会場は協会ブースと隣接した配置とし、展示と一体的な運用ができたのも大きな収穫でした。初日の隈研吾さんのセミナーでは、講演の中で Noto room について触れて頂き、講演終了直後に溢れるほどの皆さんに協会ブースにお越し頂きました。そして、その中から能登の活動への支援に参加したいと言って頂く方があらわれた時、暖かいものが胸に込み上げるのを感じました。

2025 年はたくさんのラグジュアリーホテルがオープンした年でもあり、今年のホスピタリティデザインセミナーは非常に豪華なラインナップとなりました。多くのセミナーが満席となり、途中から椅子を追加するなど、嬉しい悲鳴を上げながら対応に追われておりました。

最後に、この場を借りて、ホテレス 2026 へのご協力頂いた皆様に、お礼を申し上げて終わりたいと思います。誠にありがとうございました。

2025 年 12 月 4 日
忘年セミナーと忘年交歓会の記録

事業委員長　岡野正人

2025 年 12 月 4 日、ホテルメトロポリタンエドモント 2 階・万里にて忘年セミナーおよび、同・悠久にて忘年交歓会を開催しました。

今年は全日本ホテル連盟と初共催として行い、同連盟の会長をはじめ全国各支部の支部長らも一堂に会しました。

セミナーでは立教大学 観光学部特任教授の沢柳知彦先生に「ホテル経営基礎講座～もてなしだけではもう食えない」と題してご講演いただきました。

講演では昭和の高度成長期のような需要超過の折には良いものを作れば売れていたという「Product-Out」の時代から、現在はマーケットが何を求めているかを分析し、それに合ったものを提供しなければ事業成功確率が落ちる「Market-In」の時代であると言及されました。また、顧客満足度を形成する 2 つの要素として「Differentiator（差別化要素）」と「Dissatisfiers（不満要素）」を挙げられました。

沢柳知彦先生には、施設側に居る当協会会員にとり、ホテル経営者目線を持つことの大切さを教えて頂き、学びの多いセミナーでした。

会場を移して、引き続き忘年交歓会が行われました。広報委員の前杉昌枝さんに司会の大役を担って頂きました。冒頭、浅野一行会長の主催者挨拶に続いて共催者の全日本ホテル連盟清水嗣能会長にご挨拶いただきました。続いて、来賓を代表して観光庁観光産業課長 二井俊充様と、日本観光振興協会副理事長長谷川豊様にご祝辞を頂戴しました。日本ホテル協会専務理事 掛江浩一郎様による乾杯のご発声で、交歓会は賑やかに始まりました。ハープ奏者琴平メイさんのハープの優しい調べが会場に華やかさを添えました。壇上では、協会の今期新入会員の紹介に続き、全日本ホテル連盟の会員の紹介が行われました。

宴たけなわの中、会員から寄付された豪華な景品の当たる福引が行われ、会は大いに盛り上がりました。大内副会長による中締めにより、170 余名の参加者を集めた忘年交歓会は盛会のうちにお開きとなりました。

1 月 14 日賀詞交歓会の開催　報告

事務局長 清水康之

恒例の賀詞交歓会を、1 月 14 日（水）11 時～12 時 30 分ホテルメトロポリタン エドモント 1 階クリスタルホールにおいて開催しました。

当日は、浅野会長による主催者挨拶の後、来賓として日本観光振興協会の長谷川豊副理事長よりご挨拶を賜り、続いて当協会の涌井史郎名誉副会長の挨拶、全日本ホテル連盟の有野専務理事によるご祝辞および乾杯の発声をいただき、晴れやかな雰囲気の中で開会しました。

会場では、日本の観光産業の力強い進展や「観光地・観光産業の強靭化」に向けた取り組み、さまざまな課題に対する当協会の活動、さらには GREEN×EXPO 2027 への協力の取り組みなど、前向きな話題が数多く語られ、当協会らしい年始の行事となりました。本年は事前登録者数が 170 名となり、昨年同様、会場は多くの来場者で賑わい、新年の幕開けにふさわしい盛況のうちに終了しました。

令和８年度通常総会および関連行事のご案内

事務局長 清水康之

令和８年度通常総会を、下記のとおり開催いたします。今年度の総会関連行事として、高橋 博之氏（株式会社雨風太陽 代表取締役社長）をお招きし、セミナーを開催する予定です。

高橋氏は現在、産直プラットフォーム「ポケットマルシェ」等のサービスを展開するとともに、「都市と地方をかきまぜる」「関係人口」というコンセプトを掲げ、地方創生や食の持続可能性、地域との関わり方について、講演や執筆活動を行っておられます。

当日は、これからの地域と都市の関係性について、示唆に富んだお話をいただけるものと期待しております。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

【開催概要】

日時：令和８年６月 15 日（月）
14:00～19:00（予定）

会場：ホテルメトロポリタン エドモント
（1 階 クリスタルホール／2 階 悠久）
〒102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

【スケジュール（予定）】

- **通常総会　14:00～15:45**
- **セミナー 講師 高橋 博之 氏 16:00～17:20**
- **交流会　17:30～19:00**

☆新入会員紹介☆（申込順）

［正会員/製造業・販売業及び施工業］
株式会社近畿日本ツーリスト商事
（代表者）代表取締役社長 船場誠吾
（担当者） 建装・FFE 事業部 事業部長 石綿利一
〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-13
TEL03-6777-9660　FAX03-6856-6680
営業内容：旅館ホテル商事販売、建装 FFE 事業、保険事業

［正会員/製造業・販売業及び施工業］
株式会社船場
（代表者）代表取締役社長 小田切 潤
（担当者）関西支店 TL 榮口　宝
〒105-0023 東京都港区芝浦 1-2-3
シーバンス S 館 9F
TEL03-6865-1008
営業内容：空間づくりにおける調査・分析、コンセプトメイキング、企画・コンサルティング、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出、メンテナンスならびに施設運営

第 120 回 HOP 会の予告

HOP 会 会長代行 杉浦　司

国際観光施設協会の春のゴルフコンペを下記のとおり開催致します。

日 時 ：令和 8 年6月2日（火）
コース ：PGM 武蔵ゴルフクラブ
プレイ費 ： 20，000円程度（キャディ付、食事別途；未確定） 各自精算
会 費 ： 5，000円（パーティー費含む）

コンペ終了後は表彰式と懇親会、賞品も多数用意しております。
会員の皆様の親睦の場として、お誘いあわせのうえ、多くの参加をお待ちしております。

編集後記

ホテレスショー今年も無事に終わりましたね、みなさまお疲れ様でした。
近年のデジタル化、技術化が更に顕著に出ていた催事のように感じました。
技術革新と進化は素晴らしいことですが、道具を使いこなす人間の方が試されている気がしました。

先日、とある有名建築家の展覧会を観にいきました。平日でも多くの来場者で賑わっていましたが、最新の表現技術を多用しすぎていて、同じ建築家の展覧会を 20 年ぐらい前に観た体験より、「ダイナミックさに欠けるなあ」という印象でした。人間の身体の感じる感覚を意識してあらためて空間設計に携わりたいなと思う日でした。

一年で一番あれこれが集中する年度末、無理しすぎないようにみなさまお気をつけください。

平野智子